

ソシオニクス 脆弱機能（第4機能）× 8情報要素

各情報要素ごとに、脆弱機能の典型行動・不安の現れ方・具体的に困る場面を固有化して記述。文体は「だ・である調」。

脆弱Te（ESI, EII）

脆弱Teは、成果や効率の評価にさらされると過敏に反応する。数値管理やコスト削減の話題では不安を覚え、逃げ腰になるか過剰に準備する。実務で『数字で示せ』と迫られると苦手意識が強く出る。自分の価値判断（Fi）や直観（Ni）に自信があるため、数値で裏付ける必要を感じにくい。現場での改善要求やKPIに直面すると、萎縮したり他者に委ねることが多い。周囲からは“成果に弱い”“実務で詰めが甘い”と見られやすい。合理的計画よりも、誠実さや関係性を基準に判断する傾向が強い。

脆弱Ti（ESE, EIE）

脆弱Tiは、論理的な体系化や一貫性の要求に弱い。議論で『理屈が合わない』と指摘されると防御的になる。規則や定義を細かく突き詰められると混乱しやすい。普段は感情（Fe）や可能性（Ne）で人を動かすが、矛盾を指摘されると途端に自信をなくす。業務フローや契約の細部管理に迫られると、形だけ整えて逃げることが多い。他者からは“理屈に弱い”“場当たりの”と映りやすい。論理ではなく、人の熱意や共感に信頼を置く傾向が強い。

脆弱Fe（LSI, LII）

脆弱Feは、感情表現や雰囲気づくりの要求に戸惑う。場を盛り上げる司会や、感情的な自己開示を迫られると居心地が悪くなる。普段は論理（Ti）や感覚（Si）で安定を築くが、雰囲気を動かす役割は苦手である。『もっと楽しそうにしろ』という要求に無理をして笑顔を作ることもある。集団の空気を壊すのを恐れ、感情を抑えすぎて冷淡に見えることもある。他者からは“表情が乏しい”“愛想がない”と評価されやすい。感情よりも秩序や快適さを優先する傾向が強い。

脆弱Fi（LSE, LIE）

脆弱Fiは、人間関係の距離感や個人的誠実さの扱いに苦手意識を持つ。『あの人にどう接すべきか』と問われると戸惑いやすい。感情よりも成果（Te）や未来像（Ni）を基準にするため、個人対応がぎこちなくなる。親密さの要求や私的な相談に過剰に身構える。『誠実に向き合え』と迫られると負担に感じる。業務や議論に集中したい時ほど、人間関係の配慮でつまずく。他者からは“冷たい”“距離がある”と受け取られることがある。関係よりも実務や展望を優先する傾向が強い。

脆弱Ne（LSI, ESI）

脆弱Neは、未来の可能性や代替案を過度に突きつけられると不安になる。『他にもっと良い方法がある』と議論が拡散すると混乱する。普段は現在の秩序（Ti）や強さ（Se）に基づく判断を好む。だが『未知の展開に備えろ』という要求に苦手意識を示す。転職・新規事業・大規模な方針転換などでは萎縮しやすい。リスクを見積もるよりも、今のやり方を固める方向に走る。他者からは“視野が狭い”“融通が利かない”と見られやすい。可能性探索よりも安定を守る傾向が強い。

脆弱Ni（ESE, SEE）

脆弱Niは、時間の流れや長期的展望を問われると自信をなくす。『5年後どうなりたいか』と聞かれると答えに詰まる。普段は感情（Fe）や現実感覚（Se）に基づき瞬間を動かすが、長期予測には苦手意識を持つ。計画よりも場の流れに身を任せるため、先を見通す作業に消耗しやすい。『今後どうなると思う？』と聞かれると曖昧な返答になる。他者からは“目先ばかり”“先を読めない”と映ることが多い。未来よりも今を充実さ

せたい傾向が強い。

脆弱Se (LII, EII)

脆弱Seは、強制力や対立に晒されると強いストレスを感じる。『リーダーとして引っ張れ』『競争に勝て』と迫られると委縮する。普段は論理 (Ti) や価値観 (Fi) を軸に静かに進めたい。だが環境が攻撃的だと萎縮し、逃げや回避に走りやすい。押しの強い相手の前では言葉を失うこともある。他者からは“ 弱気 ” “ 押しに弱い ” と評価されやすい。対立よりも調和を守ろうとする傾向が強い。

脆弱Si (ILE, IEE)

脆弱Siは、健康管理や生活リズムへの配慮に無頓着である。体調不良や環境の微細な変化に気づくのが遅い。作業に没頭しすぎて休憩を忘れ、後で体を壊すことも多い。快適さを維持するよりも、新しい刺激 (Ne) や大きな展望 (Ni) を優先する。生活習慣の改善を勧められても続かないことがある。旅行では準備不足で不便を招き、日常では体調管理を軽視しやすい。他者からは“ だらしない ” “ 自己管理が甘い ” と見られやすい。快適さよりも挑戦を選ぶ傾向が強い。